

松前町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

令和 6 年度松前町学校教育基本方針において、「確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成」を重点目標に掲げており、この実現のためには、1 人 1 台端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びを推進する必要がある。

そのため、児童生徒が主体的に学習し、積極的に他者と協働して情報収集・情報活用を行うことができるよう、より最適な ICT 環境の整備が不可欠である。

2 GIGA 第 1 期の総括

GIGA 第 1 期において、令和 2 年度に 1 人 1 台端末を調達するとともに、校内の無線 LAN 環境を整備した。また、ドリルソフトや授業支援ソフトの導入、ICT 支援員の配置等により、日常的に端末を利用して学習することが定着しつつある。

しかし、ネットワーク帯域の不足等による通信の遅延・不安定、ICT に習熟した人材の不足、端末 OS やソフトウェアの更新の頻発等、ICT 環境の整備が十分とはいえない状況である。

また、1 人 1 台端末の利活用状況には学校やクラスによる差がみられ、これは、教職員の端末操作方法等の習熟度や、ICT 活用指導力の個人差が一因と考えられる。GIGA 第 2 期においては、これらの課題への対応が必要である。

3 1 人 1 台端末の利活用方策

1 人 1 台端末の更なる利活用を推進するため、ネットワーク整備計画に基づいて通信環境の改善を行う。これに加え、令和 7 年度の端末更新に当たり、低スペックの端末でも安定した動作が見込まれる Chrome OS 搭載端末（Chromebook）に変更することで、OS 更新等の頻発や不具合が出た端末の再セットアップによる学校の負担軽減を図り、教職員や児童生徒が 1 人 1 台端末の利活用のみに集中できる環境を整備する。また、教職員向けの研修等により ICT に習熟した人材を確保し、学校やクラス間の利活用状況平準化を目指す。

個別最適・協働的な学びの充実については、授業支援ソフトやクラウドの利用による共同編集機能など、より実践的な活用の推進を図る。また、特別な支援が必要な児童生徒については、実態等を把握したうえで、ウェブ会議機能によるリモートでの授業参加や動画配信など、ICT 環境を利用した個別最適な学びの保障を推進する。